



生徒指導だより

令和4年5月26日号
岐阜北高等学校生徒指導部

1. 5月27日(金)実施 人権講話について

本校に女優であり*乙女塾の代表である「西原さつき」さんをお招きし、『自分らしく生きていくこと』と題して、ご講演いただきます。本講演の目的は、「講師の実体験を交えた話を通じてLGBTQについて学び、学校生活と性の多様性についての理解を深めること」です。みなさんにとって、性に関する知識や考え方をアップグレードするよい機会になることを切に願っています。

*乙女塾とは:性別や年齢を問わず女性らしさを育む学びの場



出典:カンコー学生工学研究所 HP

性的指向による雇用差別を禁止している国の数は、EU加盟国の全てや、カナダ、アメリカ(一部の州)などを中心に80カ国以上にのぼります。日本でもLGBTQに関する法案をめぐる事態が報道され、耳にする機会が多くなってきていますが、G7(Group of 7:日本・アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・カナダおよび欧州連合で構成される政府間の政治フォーラム)の中でも、こうした法律の整備が遅れているのは、いまや日本だけ。OECD(経済協力開発機構:加盟国38カ国)のうち、LGBTQに関する法整備状況を比べると、残念ながら下から数えた方が速いです。日本は民主的な近代国家で、LGBTQに関しても“ある程度寛容な国”だと言われることもあります。しかし、「マイノリティの基本的な人権や平等が保障されている国とは言えないのが現状」というのが私の見解です。

満天のほし

心を空っぽにして
すべてを受け入れるスペース
を作ったら、

静かに考えてみよう。

みんなが同じなんてこと
あるの？

みんなの個性を認めて
みんなで輝き合おうよ。



岐阜市のお隣・関市は、平成28年8月10日に性の多様性を認め、すべての市民がお互いに尊重し合い、誰もが自分らしく暮らせることを目指し、「LGBT宣言」をし、LGBTQに対する配慮に向けた取り組みを先進的に実施しています。関市の広報誌で「Ally(アライ):英単語で支援者・同盟・味方という意味」という言葉に出会いました。くわしく調べてみると、正式にはStraight Allyと言い、自分は、LGBTQではないけれどLGBTQの人たちの活動を支持し、支援している人たちのことを指すようです。アメリカ合衆国で、LGBTQの方々を支援し、同性愛に対する嫌悪や偏見を持つ価値観などの解消を促すための活動(Straight Alliance)が盛り上がり、これらを支持する人がAllyと呼ばれるようになったそうです。また最近では、LGBTQに限らず障害を持った方や外国人といったマイノリティに対しても支援を表明しようと、Allyという言葉を使うことがあるそうです。

とはいえ、あえてAllyだと大きい声で宣言する必要はないと個人的には思っています。「Allyとして何か活動をしなれば、宣言してはいけないのかなあ…」と思う必要もないでしょう。大切な人が、自分の性的指向に悩んでいるとき、打ち明けてくれたとき、まずはそれを受け止めてゆっくり話を聞いてあげるだけでも、それはAllyとしての立派なアクションになるのではないのでしょうか。わざわざAllyと名乗らなくても、世間が当たり前にも多様性と共に暮らすそんな未来がやってくるといいですね。

「LGBTQについて考える」西原さつきさんインタビュー記事もぜひ読んでみましょう。

カンコー学生工学研究所 HP: https://kanko-gakuseifuku.co.jp/lab/contents/lgbtq_2/

2. 世界から取り残され続ける日本

本校での取り組みの一つが服装への配慮です。これは誰でも性差関係なく、「詰襟型制服」と「ブレザー型制服」、「スカート」と「スラックス」を自由に選べるようになっています。しかし、どちらでも好きな制服を着ても良いと言われても、そのスタイルの制服を着ること自体がカミングアウトになり、カミングアウトしたくない生徒にとっては選び難くなってしまっていると思われます。これは「男性はスカートが履かない」という固定観念に起因していると考えられます。

某コンビニのプライベートブランド「お母さん食堂」、2021年10月18日に改名、味やパッケージも刷新されました。「お母さんが食事をつくるのが当たり前」というアンコンシャス・バイアスやジェンダーバイアスを助長しかねないと理由でした。2022年4月4日の日本経済新聞朝刊に掲載された全面広告の問題は知っていますか。日経新聞と言えば、日本を代表する経済新聞ですよ。TVアニメの「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」「クレヨンしんちゃん」はどうでしょう。日本はこの社会文化がある以上、ジェンダーフリーの実現はまだ難しいのかもしれない。だからこそ、みなさんは性差に関する知識や考え方を日々アップグレードし続けてほしいのです。

あなたは どう 思いますか？